

新型コロナウイルス感染症対策に係る
宿泊療養施設に関する調査
集計結果(速報版)について

定例記者会見

2022年2月2日

公益社団法人 日本医師会

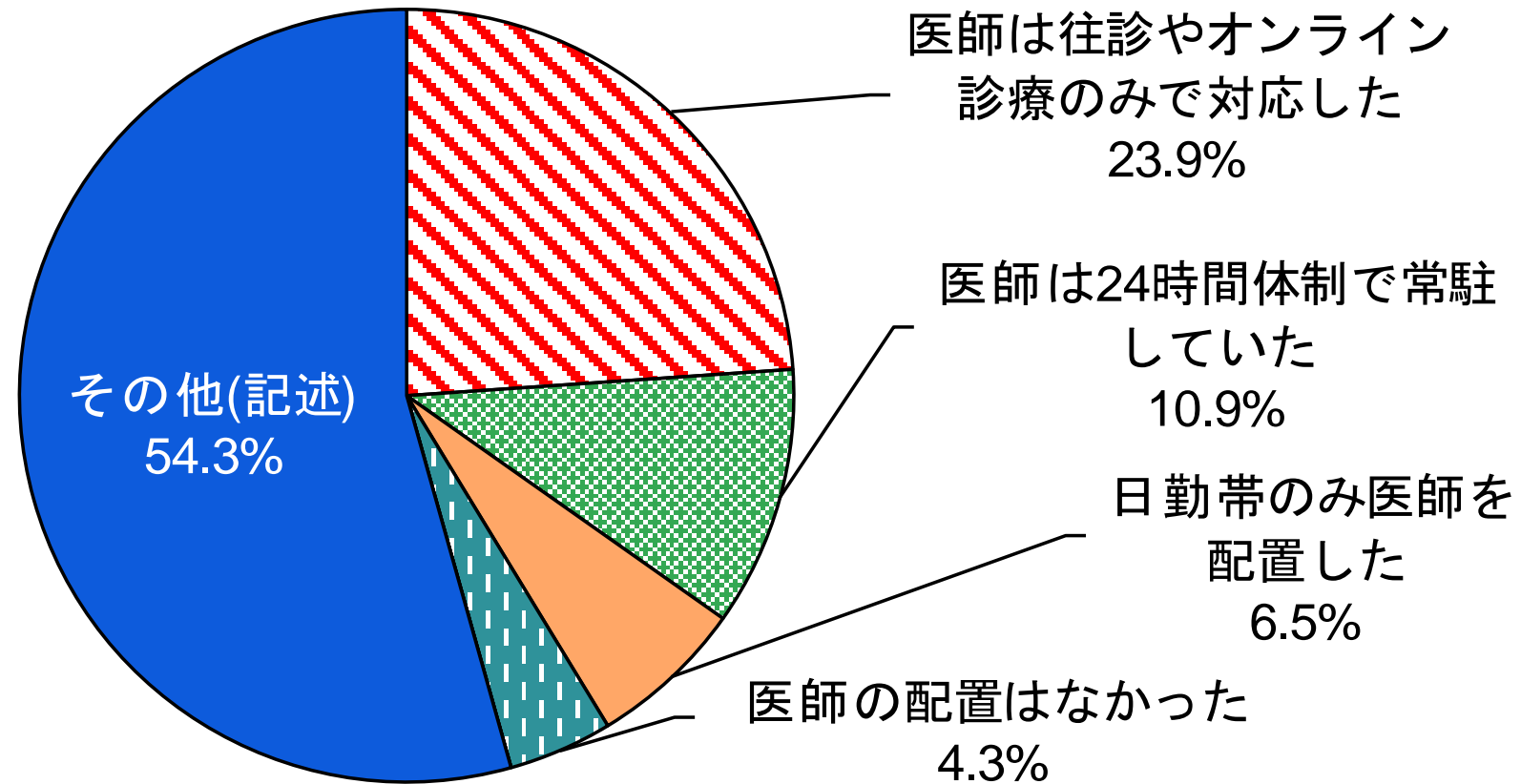
調査概要

アンケート	「新型コロナウイルス感染症対策に係る宿泊療養施設に関する調査」
調査目的	新型コロナウイルス感染症第5波(2021年6月～9月)時点における、各都道府県の宿泊療養施設の実態及び宿泊療養施設に勤務していた看護職の雇用(募集方法、雇用形態等)に関して実態を明らかにし、今後の政策提言に資すること。
調査主体	日本医師会
調査手法	Googleフォームを使用したウェブ調査
対象	47都道府県医師会
実施時期	2021年12月23日～2022年1月14日(期間延長あり)
回答件数	46件(2022年2月2日時点)

第5波における都道府県内の宿泊療養施設の医師の配置 に関して

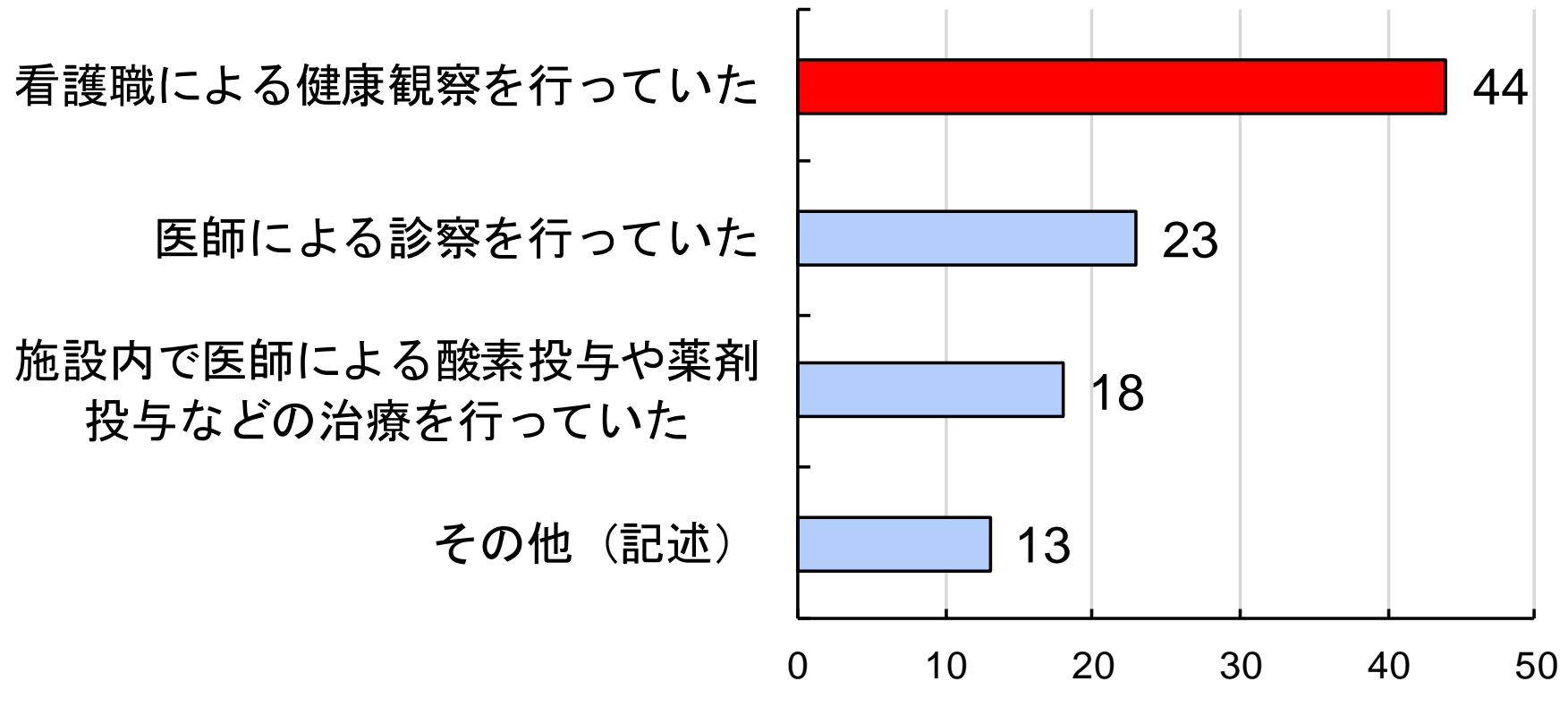
(6) 都道府県内の宿泊療養施設の入所者数が最も多かった月に、宿泊療養施設における医師の配置は以下のどれでしたか

【1つ選択】 回答数46件



第5波における都道府県内の宿泊療養施設で実施していたことに関して

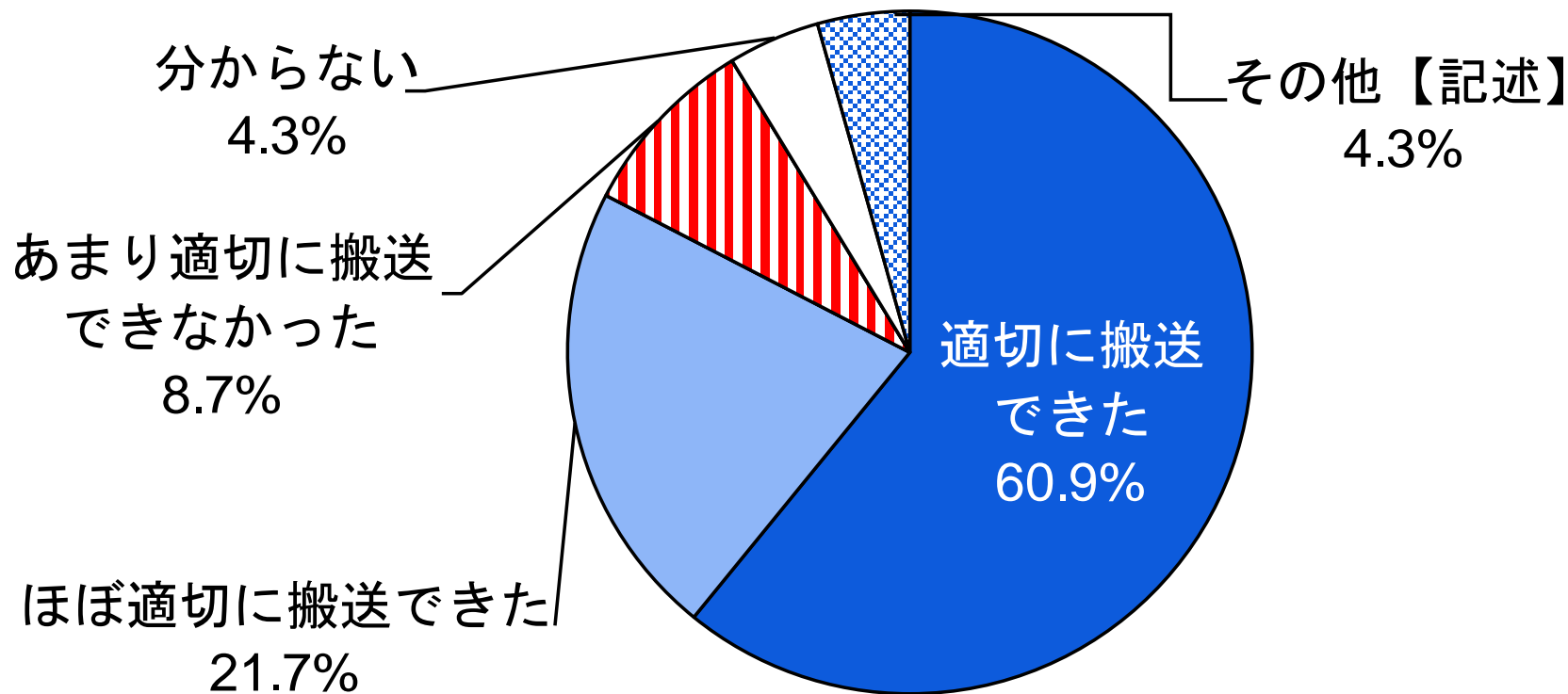
(7) 都道府県内の宿泊療養施設の入所者数が最も多かった月に、宿泊療養施設ではどのようなことを実施していましたか
【複数選択可】 回答数98件



第5波における都道府県内の宿泊療養施設での重症化した陽性者の搬送に関して

(8) 都道府県内の宿泊療養施設の入所者数が最も多かった月に、宿泊療養施設に滞在している陽性者の症状が重症化した際、適切に医療機関へ搬送することができましたか

【1つ選択】 回答数46件



第5波における都道府県内の宿泊療養施設に関する課題（一部）

感染急拡大に伴う施設や人材の確保	宿泊療養施設の開設や、医師や看護師の確保を、これまで以上に迅速に行わなければいけなかったこと。同時期にワクチン接種やオリンピック等による医師や看護職員の需要増加があったため、医療従事者の確保が困難であった。
看護職員のスキル	民間の職業紹介事業所から派遣された看護職員は経験や能力に差があり、さらに看護職員の雇用の契約内容が様々であるため、現場の医師はどこまで仕事を任せてよいか判断するのが困難であった。
宿泊療養施設開設にあたる関係者への説明	宿泊療養施設の開設にあたり、施設の近隣住民や施設関係者から理解を得ることに時間がかかった。
看護職員の雇用管理	感染拡大に伴い、契約や給与の支払い等の事務的負担が増大した。さらに、行政との予算交渉に時間を要したため、予算に関しては、国からの明確な指示と使い勝手の良い建付けにしてもらわないと現場の負担が増える。